

DM Topics

for Nursing

特集

GLP-1受容体作動薬と一緒？何が違う？

GLP-1/GIP受容体作動薬

押さえておきたいポイント

昨年登場した新しいタイプの薬剤「GIP/GLP-1受容体作動薬（一般名：チルゼパチド、製品名：マンジャロ[®]）」。「これまでのGLP-1受容体作動薬とは何が違うのでしょうか。薬の作用や特徴について、基本を押さえておきましょう。

インクレチンには2種類ある

GLP-1は、食事を摂るとその栄養素の刺激で小腸から分泌されるホルモンで、血糖依存的に膵臓からのインスリン分泌を促進させます。GLP-1のような働きホルモンのことを「インクレチン」と呼びますが、実はこのインクレチンにはもう1種類あり、それが「GIP」です。昨年新しく登場した「GIP/GLP-1受容体作動薬」は、GLP-1とGIPの両方の受容体に作用する世界初の薬剤です。

GLP-1受容体作動薬との違いは？ どんな患者に使われる？

GIP/GLP-1受容体作動薬は、GLP-1受容体作動薬と同じく、インスリン分泌能が残っている2型糖尿病患者に使用します。注射製剤で週一回の投与頻度です。新しい薬剤のためこれまで2週間の投与期間制限がありました。今年4月より長期処方解禁となりました。主な副作用

は下痢、便秘、吐き気などで、GLP-1受容体作動薬と近い傾向です。副作用を抑えるためにも低用量より開始し、4週間ごとに増量していきます。

本剤はGLP-1とGIPの両方の

受容体に作用するため、GLP-1受容体作動薬と比べ、より血糖値を下げやすいとされています。実際に昨年改訂された「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」第2版では、「チルゼパチドは日本人2型糖尿病においてGLP-1受容体作動薬デュラグルチドよりHbA1cを有意に低下させHbA1c 5.7%未満の達成率も高かったことから、血糖正常化を目指す場合には良い選択肢となると考えられる」とされています。なお本剤の添付文書では、「過度の体重減少がみられた場合は、本剤の減量又は投与中止を考慮すること。投与開始時のBMIが23 kg/m²未満の患者での本剤の有効性及び安全性は検討されていない」となっており注意が必要です。同アルゴリズムでは、Step1にて「肥満」インスリン抵抗性を想定」で選択する薬剤の一つとして位置づけられています。

不適切処方に注意 安全、適正な使用を

近年、ダイエツト目的でのGLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬の不適切処方が問題になっています。GIP/GLP-1受容体作動薬の適応は、2024年7月現在「2型糖尿病」のみとなっていますので注意が必要です。また、GLP-1受容体作動薬の一つが国内でも臨床試験を実施し、「肥満症」の治療薬として適応症を取得しましたが、適応に条件があるので電子添付文に沿った適正使用が必要です。患者からダイエツト目的での使用について質問があった際は、安全性の観点からもしっかりと説明をお願いします。

また、GLP-1受容体作動薬GIP/GLP-1受容体作動薬の安全な使用に関しては、日本糖尿病学会が「インクレチン関連薬の安全な使用に関するRecommendation」を発表しており、今年5月に全面改訂されており、今年5月に全面改訂されており、今年5月に全面改訂されており、今年5月に全面改訂されています。



監修

関東労災病院
糖尿病・内分泌内科 前部長
浜野 久美子 先生



ニュース まとめ読み

最近注目のニュースをご紹介します。

詳細はこちら

糖尿病リソースガイド
<http://dm-rg.net/>



日本糖尿病学会 「インクレチン関連薬の安全な使用に関する Recommendation 第2版」を発表

日本糖尿病学会「薬剤の安全使用に関する委員会」は、「インクレチン関連薬の安全な使用に関するRecommendation 第2版」を発表しました。近年GLP-1受容体作動薬の使用頻度が増えていることなどを背景に、インクレチンの作用にもとづく2型糖尿病治療薬の使用上の留意点について7項目挙げられています。



糖尿病診断直後の血糖管理を強化 ほぼ生涯にわたり合併症・死亡リスクを低減

英国オックスフォード大学などによるUKPDS研究では、新規に2型糖尿病と診断された患者を最長42年間追跡。診断直後から良好な血糖管理を行うことで、ほぼ生涯にわたり死亡および心筋梗塞のリスクが低減することが示されました。



1日に必要な歩数 健康寿命の延伸には9,000歩 自覚的な健康状態の改善には11,000歩

健康寿命のAI指標を用いて、1日歩数と健康寿命の関係を解明したと京都府立医科大学が発表しました。研究グループは、全国の国民生活基礎調査票と国民健康栄養調査票の成人4,957人のデータを解析。1日歩数の目標値として、健康寿命を延伸するためには9,000歩/日、自覚的な健康状態を改善するためには11,000歩/日を提唱しています。



2型糖尿病成人の体重管理 「BMI 23~25」で死亡リスクが最低に

欧州肥満学会が、2型糖尿病成人の心筋梗塞・脳卒中・慢性腎臓病などを含む心血管疾患による死亡リスクを最小限に抑えるための理想的な体重を特定したと発表しました。65歳以下の成人の場合、BMIを23~25の正常範囲内に維持すると、死亡リスクは最低になるとしています。



4コマ劇場

糖尿病看護の“あるある”体験談

実際の体験談を
4コマ漫画化!

第18回「未来から来た患者さん?」

宮城県 40代 Sさん(看護師歴 25年)

外来予約日に自己管理ノートを預かった際、2日後まで血糖値が記入されていました。毎日記入せず、まとめて記入したのが分かりました。そして血糖値もほとんど変わりなく、毎日測定してないことも分かりました。その後アプリを導入し、患者さんの転記ミスなどに対応できるようになりました。

Nurse's advice

木下Ns.の一言アドバイス

いい数字を見せたい、高い数字を見せたいはげない、まじめな方の“あるある”ですよ。測定する、値をノートに転記する、それを毎日やらないといけないという負担が、逆に治療の妨げになっていたかもしれません。当院では測定器とアプリを連動させて血糖値転送ができる機種を一部導入しました。手間を省いて記録の正確性が期待できます。施設側の条件もありますが、患者さんが治療に前向きになれるよう手段が選べるとよりいいですね。

木下 久美子 先生(関東労災病院 糖尿病看護認定看護師)

詳細はこちら▼

体験談募集中! /

皆さんの「元気になる」「ほっとする」エピソードをお待ちしております。採用された方にはプレゼントも!



教えて、MRさん!

血糖自己測定の結果をアプリで管理

「PHRアプリ※」の利用が増え、以前よりも血糖値管理に役立てられるケースが多くなっています。これにより、患者さんの治療に対するモチベーション向上や行動の変化が期待されています。

今回ご紹介する「グルテストアクア」も、測定した血糖値データをBluetooth対応デバイスに送信・連携する機能を備えています。グルテストアクアとデバイス間でBluetooth通信を行うためには、両方の機器のBluetooth設定を有効にし、登録・ペアリングする必要があります。

機器やデバイスの設定に不安を感じる

方もいらっしゃると思います。そのような場合には、機器の販売元やPHRアプリのサービス提供事業者の問い合わせ窓口を利用するのも一つの方法です。

より多くの患者さんが、自身の健康情報データをいつでも手元で確認できる環境が整い、QOL(生活の質)の向上につながることを期待しています。

※PHRアプリ:血糖値、治療・服薬情報などを個人で記録するためのアプリ

[自己検査用グルコース測定器]

グルテストアクア

高度管理医療機器 特定保守管理医療機器
認証番号:301AABZX00059A01
製造販売元:株式会社アークレイファクトリー

問い合わせ先 株式会社三和化学研究所
コンタクトセンター

☎ 0120-19-8130
(月~金 9:00~17:00 祝日および弊社休業日は除く)

機器設定
デバイス登録

1.abcd-1234
2.未登録
3.未登録
4.未登録
5.未登録

戻る

機器設定
デバイス登録

通信可能なデバイス
を検索しています

GT-7510のパスワード
123456

中止

デバイスを登録すると、データの自動転送などが利用できるようになります